

類型別方向性の検討 [23類型]

資料4

No.	名称	対象施設
1	ホール、ギャラリー	市民会館、市民ギャラリー、亀城プラザ
2	図書館	図書館、地区分館(三中、都和、新治、神立)
3	集会施設、生涯学習施設	地区公民館(8館)、生涯学習館、青少年センター、青少年の家、神立地区コミュニティセンター、男女共同参画センター、亀城プラザ、勤労青少年ホーム、勤労者総合福祉センター、社会福祉センター、市民会館、ふれあいセンター「ながみね」
4	屋内運動施設	新治トレーニングセンター、武道館、亀城プラザ、勤労青少年ホーム、勤労者総合福祉センター、ふれあいセンター「ながみね」、小中学校体育館(旧小学校含む27施設)、霞ヶ浦文化体育会館(県施設)
5	高齢者福祉施設	老人福祉センター(うらら、湖畔荘、つわぶき)、ふれあいセンター「ながみね」、新治総合福祉センター
6	児童館等	児童館(都和、ポプラ、新治)、子育て交流サロン(わらべ、のぞみ)、こどもランド
7	支所・出張所	支所・出張所(都和、南、上大津、新治、神立)
8	歴史館	博物館、上高津貝塚ふるさと歴史の広場
9	学習等供用施設	荒川沖東部地区学習等供用施設、荒川沖西部地区学習等供用施設
10	観光・交流施設	観光案内所、レストハウス水郷、国民宿舎水郷「霞浦の湯」、まちかど蔵(大徳、野村)、小町の館、ネイチャーセンター、りんりんポート土浦
11	農業センター	農業センター
12	保健施設	保健センター、保健センター新治分室、休日救急診療所
13	障害者等施設	障害者自立支援センター、つくしの家、つくし作業所、療育支援センター、幼児ことばの教室、早期療育相談
14	児童クラブ	各小学校児童クラブ
15	その他の教育施設	教育相談室「ポプラひろば」、学校給食センター
16	庁舎等	市役所本庁舎、教育委員会庁舎、大町庁舎、真鍋事務庁舎、社会福祉センター、道路補修事務所、消費生活センター
17	市営住宅	市営住宅
18	保育所等	保育所(荒川沖、東崎、東崎分園、霞ヶ丘、天川、神立)、土浦幼稚園
19	学校施設	小学校、中学校、義務教育学校
20	消防署	消防本部庁舎、荒川沖署、神立署、新治署、南分署
21	分団車庫	分団車庫
22	その他の行政施設	防犯ステーションまちばん(荒川沖、神立)、斎場、藤沢集会所
23	旧施設	旧市役所本庁舎、旧高津庁舎、旧上大津西小学校、旧藤沢小学校、旧斗利出小学校、旧山ノ荘小学校、旧第1・2学校給食センター、旧新治幼稚園

※現状把握のため、昨年度配置方針を策定した10施設も含めている。

※施設を性質別に分類するため、複数の類型に整理される施設がある。

類型別方向性の検討に際し、23類型を以下の3分類に分け、分類ごとに適した分析を実施

分類	内容	分析項目
類型内比較 (No.1～7)	同種のサービスを提供している施設について、稼働率やコスト等を類型内で比較し、必要なサービス内容や量を算出し、配置方針の参考とする施設。	・施設評価、類型内比較、類型全体でのサービス供給状況 ・現状と課題
単体での検討 (No.8～16)	サービス提供内容が異なるなど類型内比較が馴染まないため、施設単体でのサービスのあり方を検討する施設。	・施設評価 ・現状と課題
所管課検討 (No.17～23)	所管課が類型毎に再編を進めている、または進めることが適当なため、その方向性を軸にサービスのあり方を検討する施設。	・これまでの取り組み

◎施設評価項目

- i, 行政関与の必要性、設置目的の整合性 … 法令の規定、設置目的と実態との乖離
- ii, 利用状況の妥当性 … 利用者数、稼働率(類型内比較、時間別・部屋別の状況等)
- III, コストの妥当性 … 受益者負担割合や費用対効果など、類型内・他類型との比較
- iv, 機能や運営の代替性 … 民間等のサービス提供状況、運営手法の妥当性等
- v, 建物の機能の妥当性 … 築年数、改修・修繕履歴、劣化状況等

また、各類型別の分析におけるデータの時点は以下のとおりとなっております。

- ・純行政コスト^{※1}及び受益者負担割合^{※2}: 令和元年度～令和3年度の3カ年平均
- ・減価償却率^{※3}: 令和3年度末(固定資産台帳より再算出)
- ・その他: 令和2年度～令和4年度の3カ年平均

※小数点以下の都合で、内訳の合計と合計値が一致しない場合があります。

- ※1 純行政コストとは、支出と収入の差額のこと、市が負担している費用を表しています。
支出には、施設運営に係る物件費や人件費のほか、発生主義に基づく減価償却費も含まれます。
- ※2 受益者負担割合とは、支出(減価償却費を除く)に対して、利用者が支払っている費用の割合を表しています。
- ※3 減価償却率とは、法定耐用年数に対する建物の償却進捗を表しており、数値が高いほど減価償却が進んでいることを表しています。

◎各シートに掲載している分析項目の表記について

- ・No.1～No.7の類型は、類型内比較をしており、類型平均を下回る場合は赤字、類型平均の半分を下回る場合は赤字で表記しています。
- ・黄色で塗りつぶされた箇所は、各類型の現状と課題に関連する項目です。
- ・灰色で塗りつぶされた施設は、昨年度策定の「土浦市公共施設等再編・再配置計画」の中で、閉館の方針を示している施設です。

No.1 ホール、ギャラリー

1.施設概要

施設名称	ホール			ギャラリー (150㎡未満)
	大ホール (1,200㎡)	小ホール (300㎡)	市民ホール (300㎡)	
市民会館	1部屋	1部屋		
市民ギャラリー				6部屋
亀城プラザ		1部屋	1部屋	2部屋
計	1部屋	2部屋	1部屋	8部屋

2.利用状況の妥当性

①部屋別稼働率

施設名称	大ホール	小ホール	市民ホール	ギャラリー
市民会館	28.1%	11.9%		
市民ギャラリー				59.3%
亀城プラザ		6.3%	3.2%	13.3%
類型平均	28.1%	9.1%	3.2%	36.3%

②年間当たりの部屋別余剰枠数

施設名称	利用可能枠数	利用件数	余剰枠数	来館者数(人)
大ホール	778	221	557	30,033
小ホール	1,635	150	1,485	8,175
多目的ホール	857	29	828	743
ギャラリー	3,398	1,241	2,157	25,428

●現状と課題

- ・部屋別の稼働率は、ホールの稼働率が低く、特に、小ホールや市民ホールが低い。
施設別では、亀城プラザの稼働率が低い。
- ・全体的に純行政コストは高く、受益者負担割合は低い。
- ・亀城プラザは築40年を経過したが、大規模改修は未実施。

3.コストの妥当性

施設名称	年間 利用者数 (人)	延床面積	純行政コスト	利用者1人	延床面積	受益者 負担割合
				当たり	1㎡当たり	
市民会館	43,749	5,657㎡	138,543千円	3.2千円	24.5千円	14.4%
市民ギャラリー	25,428	1,039㎡	66,488千円	2.6千円	64.0千円	5.1%
亀城プラザ	44,677	7,298㎡	95,979千円	2.1千円	13.2千円	32.7%
類型平均	37,951	4,665㎡	100,337千円	2.6千円	33.9千円	17.4%

4.機能や運営の代替性

- ・県南生涯学習センター(県施設) … 多目的ホール(420㎡)
- ・勤労者総合福祉センター … 多目的ホール(259㎡)

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
市民会館	5,657㎡	54年	38.4%	有	H30~R1
市民ギャラリー	1,039㎡	6年	13.7%	—	—
亀城プラザ	7,298㎡	40年	74.8%	—	未

◎想定される方向性(案)

集約・複合化により建物総量の圧縮を図りつつ、サービス向上やコスト削減が図られる運営手法について検討する。

No.2 図書館

1.施設概要

地域のまちづくり、ひとづくりに役立つ施設として、また、生涯学習や情報の拠点となる施設として設置。

- ・図書館 …アルカス土浦2階～4階
- ・三中地区分館 …三中地区公民館内
- ・都和分館 …都和公民館内
- ・新治地区分館 …新治地区公民館内
- ・神立地区分館 …神立コミュニティセンター内

2.利用状況の妥当性

貸出率及び来館者1人当たりの貸出冊数

施設名称	①来館者数	②述べ貸出者数	貸出率 (②/①)	来館者当たりの貸出冊数
図書館	337,468	144,005	42.7%	1.5
三中地区分館	20,344	18,078	88.9%	3.0
都和分館	6,175	4,753	77.0%	2.2
新治地区分館	17,031	13,595	79.8%	2.8
神立地区分館	14,919	8,600	57.6%	2.1
類型平均	79,188	37,806	69.2%	2.3

◇将来世代アンケート

- ・利用してみたい施設は図書館が最も多く挙げられている
- ・自由意見では、「勉強できる場所がほしい」という意見が寄せられている。

●現状と課題

- ・都和分館の来館者数が、他の分館と比べて著しく少ない。
- ・来館者1人当たりの純行政コストは、本館及び新治分館が高い。
- ・将来世代からは、自習スペースの確保に係る要望が多い。

3.コストの妥当性

施設名称	年間 来館者数 (人)	延床面積	純行政コスト	来館者1人 当たり	延床面積 1㎡当たり
図書館	337,468	7,777㎡	531,096千円	1.6千円	68.3千円
三中地区分館	20,344	100㎡	5,269千円	0.3千円	52.7千円
都和分館	6,175	80㎡	3,299千円	0.5千円	41.2千円
新治地区分館	17,031	313㎡	14,860千円	0.9千円	47.5千円
神立地区分館	14,919	151㎡	8,622千円	0.6千円	57.0千円
類型平均	79,188	1,684㎡	112,629千円	0.8千円	53.3千円

4.機能や運営の代替性

民間等で類似施設なし

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価 償却率	耐震性	大規模改 修の有無
図書館	7,777㎡	6年	13.7%	—	—
三中地区分館	100㎡	40年	73.6%	—	未
都和分館	80㎡	35年	66.2%	—	—
新治地区分館	313㎡	10年	27.6%	—	—
神立地区分館	151㎡	21年	37.4%	—	—

◎想定される方向性(案)

利便性向上が図られるサービス提供方法について検討する。

No.3 集会施設、生涯学習施設

1.施設概要

	会議室等																音楽室	視聴覚室	工作室	調理室	
	会議室			研修室			集会室						学習室			和室					
	50㎡未満	50～100㎡	100㎡以上	50㎡未満	50～100㎡	100㎡以上	50㎡未満	50～100㎡	100～150㎡	150～200㎡	200㎡以上	50㎡未満	50～100㎡	150㎡以上	50㎡未満	50㎡以上					
一中地区公民館		2							1						3			1		1	
二中地区公民館	2									1					3			1		1	
三中地区公民館										1		4						1		1	
四中地区公民館	1								1			3						1		1	
上大津公民館		1			1				1						1					1	
六中地区公民館										1		4				1		1		1	
都和公民館	1	1									1				3			1		1	
新治地区公民館				4						1					2			2		1	
生涯学習館	2			3	4	3									3			1	1		
青少年センター					1																
青少年の家	1		1			1															
神立地区コミュニティセンター	1	1								1							1	1		1	
男女共同参画センター				1	2	1															
亀城プラザ	1	5	2										1	1	3	2					
勤労青少年ホーム		1			1		1								1		1		1	1	
勤労者総合福祉センター		1	1		2												1		1		
社会福祉センター				1	2															1	
市民会館	3														1						
ふれあいセンター「ながみね」	1																				
計	13	12	4	9	13	5	1	0	3	5	1	11	0	1	18	5	5	9	4	11	

2.利用状況の妥当性 ①年間当たりの部屋別余剰枠数と稼働率

	延床面積	部屋数	利用可能枠数	利用件数	余剰枠数	稼働率	利用者数
会議室等	50㎡未満	27	22,091	6,465	15,626	29.3%	57,600
	50～100㎡	19	15,693	4,759	10,934	30.3%	45,680
	100㎡以上	14	12,103	6,187	5,916	51.1%	101,146
和室	50㎡未満	14	11,559	1,809	9,750	15.7%	8,492
	50㎡以上	5	4,442	390	4,052	8.8%	2,547
音楽室	—	4	3,536	599	2,937	16.9%	4,434
視聴覚室	—	8	6,616	2,093	4,523	31.6%	26,007
工作室	—	2	1,822	657	1,165	36.1%	3,084
調理室	—	10	8,125	795	7,329	9.8%	10,761

●現状と課題

- 各部屋に余剰があり、特に和室や調理室の稼働率が低い。
- 全体では、男女共同参画センターや社会福祉センターの稼働率が低く、地区公民館の中では二中地区公民館、上大津公民館の稼働率が比較的低い。
- 地区公民館は、3館が築40年経過し老朽化が進んでいる。

◎想定される方向性(案)

集約・複合化により建物総量の圧縮を図りつつ、施設の多機能化・多目的化により、利便性の向上を図る手法について検討する。

2.利用状況の妥当性 ②部屋別稼働率

施設名称	会議室	研修室	集会室	学習室	和室	音楽室	視聴覚室	工作室	調理室
一中地区公民館	34.1%		52.3%		14.2%		34.5%		10.8%
二中地区公民館	17.4%		37.4%		5.1%		42.5%		6.6%
三中地区公民館			56.9%	21.9%			36.4%		14.0%
四中地区公民館	29.4%		50.4%	26.2%			32.4%		9.6%
上大津公民館	9.6%	19.0%	32.7%		4.9%				4.2%
六中地区公民館			69.8%	16.3%	21.9%		35.3%		13.3%
都和公民館	29.7%		56.4%		6.0%		7.9%		12.3%
新治地区公民館		18.3%	37.3%		7.1%		9.9%		6.5%
生涯学習館	27.3%	34.5%			28.4%		25.8%	27.2%	
青少年センター		31.6%							
青少年の家	2.7%	5.9%							
神立地区コミュニティセンター	17.6%		48.3%		5.0%	9.4%		19.4%	3.1%
男女共同参画センター		14.0%							
亀城プラザ	26.1%			19.4%	5.6%	15.9%			
勤労青少年ホーム	9.3%	17.8%	0.7%		7.0%	0.4%		13.5%	6.4%
勤労者総合福祉センター	36.3%	38.4%				49.4%		31.6%	
社会福祉センター		11.4%							1.3%
市民会館	19.9%				18.2%				
ふれあいセンター「ながみね」		18.3							
類型平均	21.6%	21.2%	44.2%	20.9%	11.2%	18.3%	28.1%	22.1%	8.0%

3.コストの妥当性

年間利用者数(人)	純行政コスト(千円)	利用者1人当たり	延床面積1㎡当たり	受益者負担割合
23,007	36,691	1.6	21.0	2.7%
16,254	29,827	1.8	24.4	2.0%
26,730	29,441	1.1	26.5	3.5%
28,213	28,983	1.0	23.8	3.1%
9,968	27,079	2.7	37.4	0.8%
29,531	29,178	1.0	23.9	2.2%
14,238	27,961	2.0	22.5	1.7%
14,855	64,009	4.3	40.6	1.6%
17,470	34,627	2.0	13.3	6.4%
1,239	21,316	17.2	56.8	0.0%
7,222	19,621	2.7	11.2	1.2%
17,037	23,182	1.4	24.3	3.2%
8,765	17,129	2.0	-	0.5%
44,677	95,979	2.1	13.2	32.7%
6,137	23,974	3.9	23.7	1.4%
44,826	43,741	1.0	23.6	28.8%
9,719	58,060	6.0	23.4	0.2%
43,749	138,543	3.2	24.5	14.4%
55,146	78,048	1.4	30.8	9.7%
22,041	43,547	3.1	25.8	6.1%

4.機能や運営の代替性 類似機能…各種習い事や貸しスタジオなど。

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
一中地区公民館	1,750㎡	30年	52.8%	—	—
二中地区公民館	1,223㎡	38年	72.0%	—	—
三中地区公民館	1,113㎡	40年	73.6%	—	未
四中地区公民館	1,216㎡	43年	79.4%	有	未
上大津公民館	725㎡	45年	85.7%	有	未
六中地区公民館	1,219㎡	37年	68.1%	—	—
都和公民館	1,243㎡	35年	66.2%	—	—
新治地区公民館	1,575㎡	10年	27.6%	—	—

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
生涯学習館	2,606㎡	50年	93.6%	無	未
青少年センター	375㎡	26年	32.5%	—	—
青少年の家	1,758㎡	49年	96.9%	有	未
神立地区コミュニティセンター	955㎡	21年	37.4%	—	—
男女共同参画センター	—	26年	32.5%	—	—
亀城プラザ	7,298㎡	40年	74.8%	—	未
勤労青少年ホーム	1,014㎡	52年	100.0%	一部無し	未
勤労者総合福祉センター	1,853㎡	26年	49.3%	—	—
社会福祉センター	2,478㎡	26年	18.0%	—	—
市民会館	5,657㎡	54年	32.5%	有	H30~R1
ふれあいセンター「ながみね」	2,537㎡	20年	52.9%	—	—

No.4 屋内運動施設

1.施設概要

施設名称	サービス内容など
新治トレーニングセンター	体育館
武道館	弓道場、柔道場、剣道場
亀城プラザ	150㎡、200㎡の体育室
勤労青少年ホーム	250㎡の体育室
土浦小学校	学校教育に支障のない範囲で (夜間、休日など)体育館を開放
下高津小学校	
東小学校	
大岩田小学校	
真鍋小学校	
都和小学校	
荒川沖小学校	
中村小学校	
土浦第二小学校	
上大津東小学校	
神立小学校	
右舂小学校	
都和南小学校	
乙戸小学校	
菅谷小学校	
土浦第一中学校	
土浦第二中学校	
土浦第三中学校	
土浦第四中学校	
土浦第五中学校	
土浦第六中学校	
都和中学校	
新治学園義務教育学校	
旧上大津西小学校	
旧藤沢小学校	
旧山ノ荘小学校	
旧宍塚小学校	
霞ヶ浦文化体育会館(県施設)	大小体育館、軽体育室

その他、トレーニングルーム3か所、ながみねの屋内プールがある。

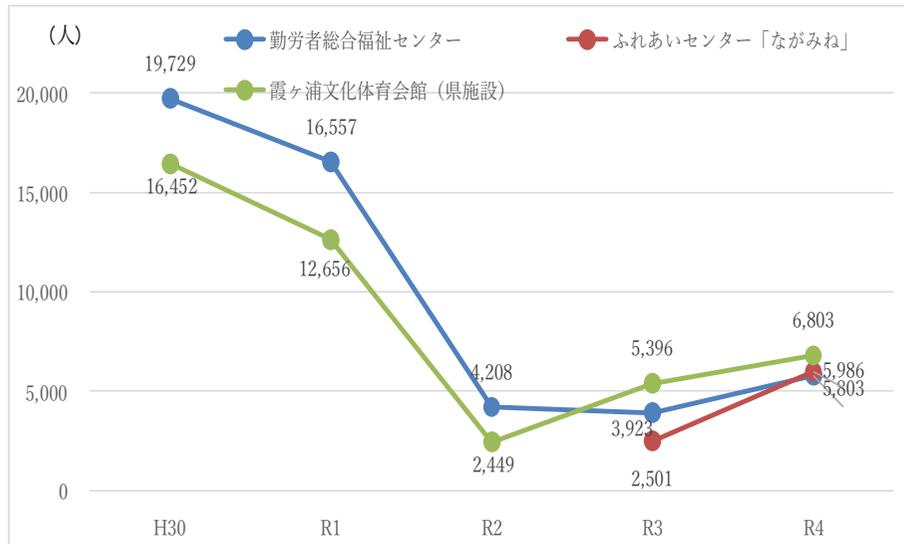
2.利用状況の妥当性

①時間帯、曜日別稼働率

施設名称	時間帯別			曜日別	
	午前	午後	夜間	平日	休日
新治トレーニングセンター	51.7%	59.5%	72.4%	52.8%	82.0%
武道館	47.0%	64.1%	75.6%	58.1%	73.1%
亀城プラザ	47.0%	64.1%	75.6%	58.1%	73.1%
勤労青少年ホーム	67.2%	41.7%	55.3%	56.0%	52.7%
土浦小学校	91.7%	69.6%	93.6%	80.0%	87.6%
下高津小学校	100.0%	87.5%	96.2%	91.0%	96.0%
東小学校	100.0%	100.0%	92.9%	97.0%	96.7%
大岩田小学校	100.0%	100.0%	89.0%	94.3%	96.7%
真鍋小学校	79.2%	100.0%	99.0%	100.0%	91.9%
都和小学校	83.3%	61.9%	93.8%	70.7%	91.7%
荒川沖小学校	83.3%	93.8%	90.5%	90.5%	90.3%
中村小学校	83.3%	94.0%	88.6%	89.3%	91.9%
土浦第二小学校	62.5%	100.0%	96.5%	95.8%	86.9%
上大津東小学校	81.3%	72.6%	81.7%	72.3%	86.5%
神立小学校	95.8%	81.0%	86.7%	81.3%	91.9%
右舂小学校	93.8%	76.2%	88.6%	79.3%	91.3%
都和南小学校	100.0%	92.9%	84.3%	85.3%	97.8%
乙戸小学校	93.8%	76.2%	70.0%	70.0%	85.1%
菅谷小学校	85.4%	88.1%	80.0%	80.0%	91.3%
土浦第一中学校	—	—	92.5%	94.6%	87.5%
土浦第二中学校	—	—	100.0%	100.0%	100.0%
土浦第三中学校	—	—	89.2%	89.2%	—
土浦第四中学校	—	—	93.7%	93.3%	94.4%
土浦第五中学校	—	—	97.6%	96.7%	100.0%
土浦第六中学校	—	—	92.1%	91.1%	94.4%
都和中学校	—	—	94.4%	92.2%	100.0%
新治学園義務教育学校	—	—	96.0%	94.4%	100.0%
旧上大津西小学校	100.0%	76.2%	89.5%	78.7%	95.6%
旧藤沢小学校	87.5%	52.4%	88.8%	62.8%	89.2%
旧山ノ荘小学校	100.0%	38.1%	79.5%	45.0%	95.6%
旧宍塚小学校	100.0%	32.4%	94.8%	53.0%	93.3%
霞ヶ浦文化体育会館(県施設)	50.2%	52.1%	60.5%	54.3%	—
類型平均	81.5%	73.8%	84.8%	78.6%	89.1%

2.利用状況の妥当性

②トレーニングルームの利用者数



3.コストの妥当性

施設名称	年間利用者数 (人)	純行政コスト	利用者1人当たり	延床面積 1㎡当たり	受益者負担割合
新治トレーニングセンター	17,615	9,120千円	0.5千円	6.4千円	11.6%
武道館	37,991	25,992千円	0.7千円	18.0千円	4.8%
亀城プラザ	44,677	95,979千円	2.1千円	13.2千円	32.7%
勤労青少年ホーム	6,137	23,974千円	3.9千円	23.7千円	1.4%
勤労者総合福祉センター	44,826	43,741千円	1.0千円	23.6千円	28.8%
ふれあいセンター「ながみね」	53,474	78,048千円	0.2千円	30.8千円	9.7%
霞ヶ浦文化体育会館 (県施設)	91,632	52,820千円	0.6千円	6.9千円	23.1%
類型平均	42,336	47,096千円	1.3千円	17.5千円	16.0%

◇将来世代アンケート

利用してみたい施設では、回答者の10%近くが「スポーツ施設」と回答。

4.機能や運営の代替性 類似機能…民間のスポーツジムなど

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
新治トレーニングセンター	1,430㎡	39年	73.0%	—	—
武道館	1,446㎡	34年	71.6%	—	—
亀城プラザ	7,298㎡	40年	74.8%	—	未
勤労青少年ホーム	1,014㎡	52年	100.0%	一部無し	未
勤労者総合福祉センター	1,853㎡	26年	49.3%	—	—
ふれあいセンター「ながみね」	2,537㎡	20年	52.9%	—	—

●現状と課題

・全体的に稼働率が高く、また、将来世代からの利用要望が多く挙がっているなど、市民ニーズが高い。
 ・受益者負担割合は施設によってばらつきがあり、純行政コストは各施設とも高くなっている

◎想定される方向性(案)

他類型の施設共有や運営手法の見直しなどにより、スポーツ活動機会の確保やコスト削減を図る方法について検討する。



No.5 高齢者福祉施設

1.施設概要

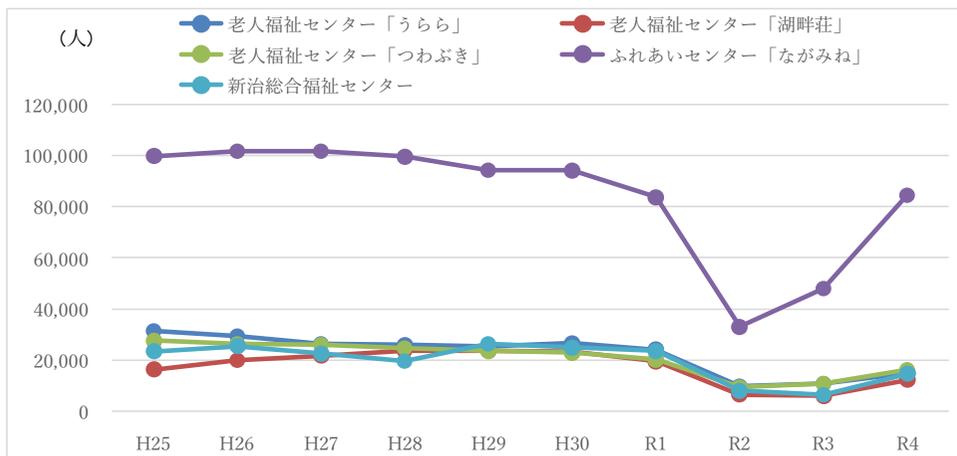
老人福祉センターは、地域の高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための施設。60歳以上は利用料無料で、大浴場や相談室、娯楽室などがある。同種の機能を持つ施設として、新治総合福祉センター、ふれあいセンター「ながみね」がある。

2.利用状況の妥当性

①延床面積1㎡当たりの利用者数

施設名称	延床面積	年間利用者数(人)	延床面積1㎡当たり
老人福祉センター「うらら」	618㎡	11,816	19.1
老人福祉センター「湖畔荘」	764㎡	8,265	10.8
老人福祉センター「つわぶき」	1,149㎡	12,113	10.5
ふれあいセンター「ながみね」	2,537㎡	55,146	21.7
新治総合福祉センター	2,192㎡	9,756	4.5
類型平均	1,452㎡	19,419	13.3

②過去10年間における利用者数の推移



●現状と課題

- ・アンケート結果から、「週に複数回」「入浴を目的」「自家用車」で利用している人が最も多い。
- ・ながみね以外の施設は、60歳以上の利用料は無料であり、受益者負担割合は1%を下回っている。
- ・温浴設備は、ボイラーなどの設備や配管等の故障が度々発生するなど、維持管理費が高額になっている。



◎想定される方向性(案)

集約・複合化により建物総量の圧縮を図りつつ、サービス内容の見直しにより、多様な世代・目的の方が集える場の提供について検討する。

3.コストの妥当性

施設名称	年間利用者数(人)	延床面積(㎡)	純行政コスト(千円)	利用者1人	延床面積	受益者負担割合
				当たり	1㎡当たり	
うらら	11,816	618	16,061	1.4	26.0	0.1%
湖畔荘	8,265	764	22,677	2.7	29.7	0.2%
つわぶき	12,113	1,149	36,764	3.0	32.0	0.1%
ながみね	55,146	2,537	78,048	1.4	30.8	9.7%
新治総合福祉センター	9,756	2,192	53,243	5.5	24.3	0.7%
類型平均	19,419	1,452	41,359	2.8	28.5	2.2%

4.機能や運営の代替性

類似機能…中学校区毎に配置されている生きがい対応型デイサービス、地域の公民館、民間の入浴施設

5.建物の機能の妥当性

①築年数、減価償却率、大規模改修の有無等

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
うらら	618㎡	26年	32.5%	—	—
湖畔荘	764㎡	42年	79.7%	—	未
つわぶき	1,149㎡	31年	67.6%	—	—
ながみね	2,537㎡	20年	52.9%	—	—
新治総合福祉センター	2,192㎡	28年	52.5%	—	—

②R2～R4の温浴設備の修繕状況

施設名称	修繕件数	修繕金額
うらら	2件	437千円
湖畔荘	3件	1,348千円
つわぶき	11件	2,382千円
ながみね	13件	8,757千円
新治総合福祉センター	3件	2,731千円
合計	32件	15,655千円

No.6 児童館等

1.施設概要

- ・児童館…0～18歳の児童を対象。遊戯室や図書室があるほか、書道教室やハンドメイド教室など様々なイベントを開催。
- ・子育て交流サロン…概ね0～3歳の児童と保護者を対象。栄養相談や子育て講座等を実施。
- ・こどもランド…概ね12歳以下の子どもと保護者を対象。プレイゾーン、図書室、授乳・オムツ替え室があり、体操教室や読み聞かせなども実施。

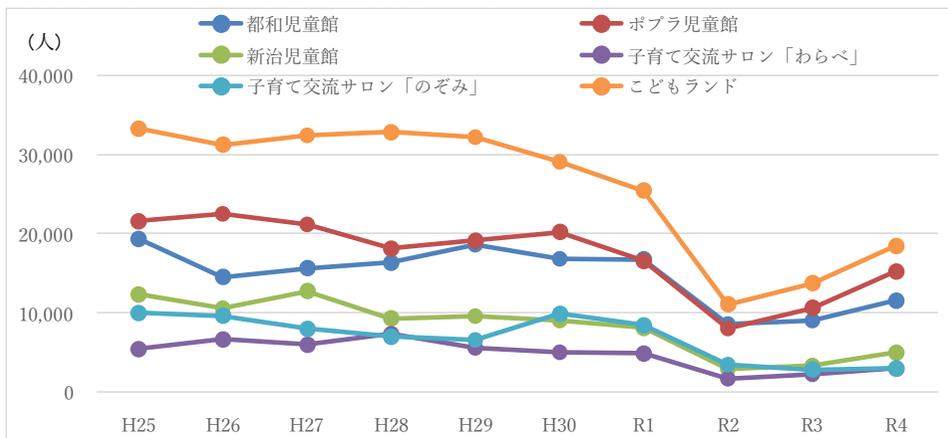
2.利用状況の妥当性

①延床面積1㎡当たりの利用者数

施設名称	延床面積	年間利用者数(人)		平均
		利用者数	延床面積1㎡当たり	
都和児童館	438㎡	9,739	22.2	18.4
ポプラ児童館	583㎡	11,292	19.4	
新治児童館	273㎡	3,748	13.7	24.9
子育て交流サロン「わらべ」	103㎡	2,284	22.2	
子育て交流サロン「のぞみ」	112㎡	3,091	27.6	
こどもランド	506㎡	14,438	28.5	—

※延床面積1㎡当たりの利用者数は児童館内、子育て交流サロン内で比較

②過去10年間における利用者数の推移



3.コストの妥当性

施設名称	純行政コスト(千円)	利用者1人当たり	類型平均	延床面積1㎡当たり	類型平均
都和児童館	32,260	3.3	5.2	73.6	87.8
ポプラ児童館	41,555	3.7		71.3	
新治児童館	32,278	8.6	2.0	118.4	50.2
子育て交流サロン「わらべ」	4,597	2.0		44.7	
子育て交流サロン「のぞみ」	6,225	2.0		55.7	
こどもランド	14,687	1.0	—	29.0	—

4.機能や運営の代替性

類似機能…地域子育て支援センターが4か所(うち、公立1か所)

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
都和児童館	438㎡	50年	87.2%	有	未
ポプラ児童館	583㎡	18年	78.2%	—	—
新治児童館	273㎡	41年	81.7%	—	未
子育て交流サロン「わらべ」	103㎡	66年	63.3%	—	—
子育て交流サロン「のぞみ」	112㎡	13年	36.5%	—	—
こどもランド	506㎡	26年	32.5%	—	—

●現状と課題

・純行政コストは、利用者1人当たり、延床面積当たりのいずれも、新治児童館が他施設と比較して高い。
 ・都和児童館、新治児童館は、築40年以上経過し老朽化が著しい。

◎想定される方向性(案)

集約・複合化により建物総量の圧縮を図りつつ、子育て支援に係る機能確保や魅力向上の方法について検討する。

No.7 支所・出張所

1.施設概要

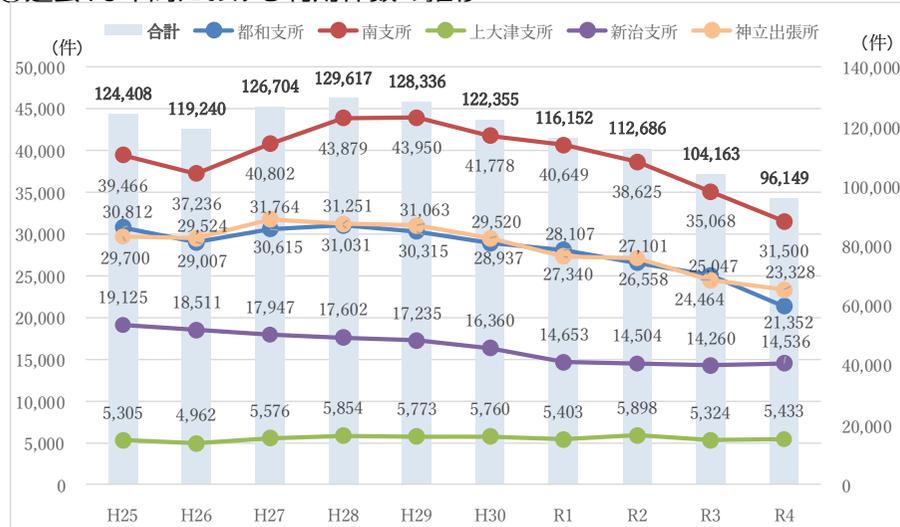
本庁舎同様、住民票、戸籍の証明書発行、納税などの窓口業務に対応している。南支所は荒川沖西部地区学習等供用施設と同一建物であり、新治支所は新治保健センター内、神立出張所は神立地区コミュニティセンター内にある。

2.利用状況の妥当性

①延床面積1㎡当たりの利用者数

施設名称	延床面積	年間利用者数(人)	年間利用者数	
			当該施設	分類平均
都和支所	74㎡	11,651	157.6	185.0
南支所	75㎡	29,148	386.5	
上大津支所	74㎡	2,896	39.2	
新治支所	105㎡	8,131	77.7	
神立出張所	58㎡	15,314	264.0	

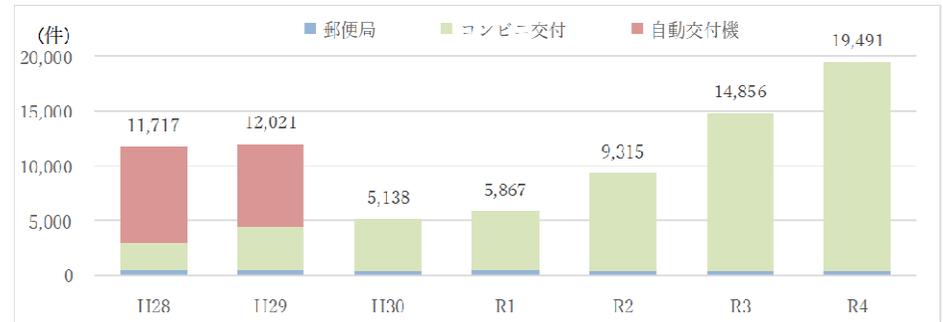
②過去10年間における利用件数の推移



●現状と課題

支所・出張所の取り扱い件数は減少傾向である。また、総合管理計画や昨年度の検討の中で、「他施設への複合化や機能移転」「利用状況やデジタル化の推進状況などを踏まえたサービスのあり方を検討」としている。

③郵便局及び自動交付機、コンビニでの証明書の取扱い件数



※自動交付機による証明書発行サービスは、機器の老朽化により、平成30年3月31日をもって終了

3.コストの妥当性

施設名称	純行政コスト(千円)	コスト効率	
		利用件数1件当たり	延床面積1㎡当たり
都和支所	18,209	1.1	246.3
南支所	16,851	0.5	223.4
上大津支所	17,505	7.0	236.8
新治支所	18,987	2.1	181.4
神立出張所	18,660	1.0	321.7
類型平均	18,042	2.4	241.9

4.機能や運営の代替性

収納は銀行やコンビニ、各種証明書(戸籍証明書以外)はコンビニエンスストア(マイナンバーカード保持者に限る)、各課への提出書類の預かりは公民館で対応が可能。

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
都和支所	74㎡	40年	100.0%	—	—
南支所	75㎡	32年	72.6%	—	—
上大津支所	74㎡	42年	100.0%	無	—
新治支所	105㎡	36年	68.1%	—	—
神立出張所	58㎡	21年	37.4%	—	—

◎想定される方向性(案)

集約・複合化により建物総量の圧縮を図りつつ、多機能化により利便性向上を図る方法や、デジタル化の推進を踏まえた機能の見直しについて検討する。

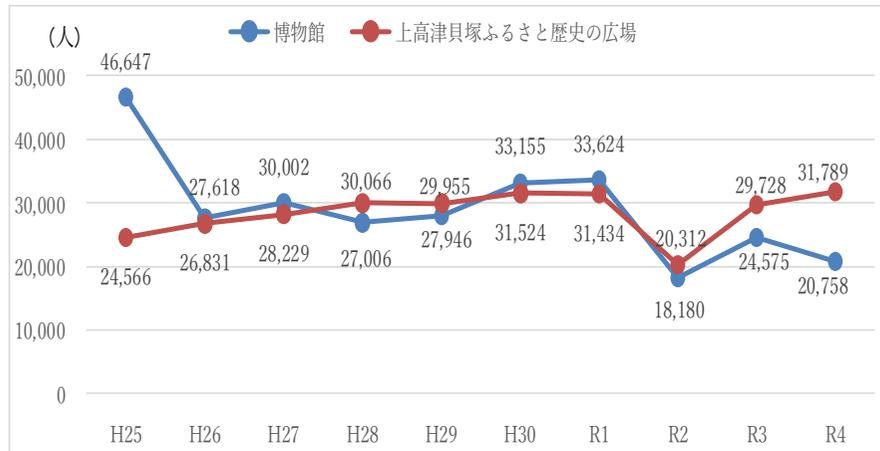
No.8 歴史館

1.施設概要

・博物館…市民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として設置された施設。土浦の歴史と文化を紹介する展示室などがある。
 ・上高津貝塚ふるさと歴史の広場…市民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として設置された施設。広場では竪穴住居や掘立柱建物など復元しており、考古資料館では、上高津貝塚と縄文人の生活の様子を解説している。

2.利用状況の妥当性

過去10年間における入場者数の推移



※博物館は、大規模改修に伴い長期休館中【令和4年7月4日から令和6年1月5日(予定)】

●現状と課題

- ・感染症流行前の平成30年度までの入場者数は、両施設とも緩やかな増加傾向。
- ・施設職員数が多く、受益者負担割合も低いことから、他の類型と比べて純行政コストは高い。
- ・収蔵品が年々増加しており、収蔵庫の容積が不足している。

3.コストの妥当性

施設名称	年間入場者数	延床面積	純行政コスト(千円)	入場者1人	延床面積	受益者負担割合
				当たり	1㎡当たり	
博物館	21,171	2,483㎡	108,372	5.1	43.6	1.0%
上高津貝塚ふるさと歴史の広場	27,276	2,010㎡	94,405	3.5	47.0	0.2%

4.機能や運営の代替性

民間等で類似施設なし

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
博物館	2,483㎡	36年	60.1%	—	R4~R5
上高津貝塚ふるさと歴史の広場	2,010㎡	29年	54.9%	—	—

◎想定される方向性(案)

建物総量の増加を抑制しつつ、他類型の施設活用や運営手法の見直しなどにより、コスト削減と魅力向上の両立を図る手法について検討する。

No.9 学習等供用施設

1.施設概要

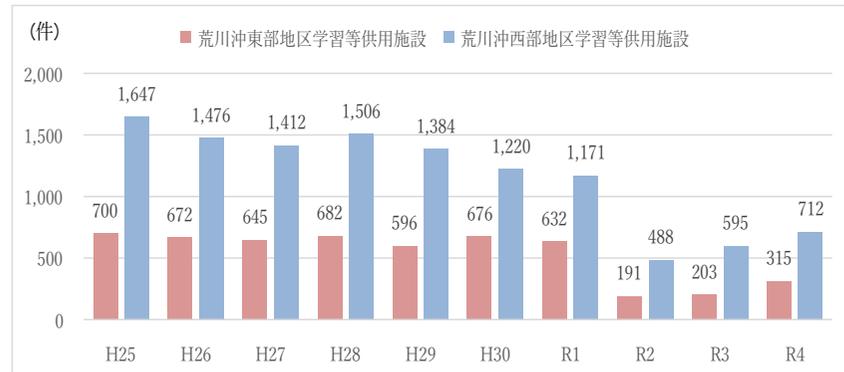
市民の学習、保育、休養又は集会の用に供することを目的に防衛省の補助金を受けて設置された施設。荒川沖東一・二・三丁目自治会、荒川沖西一・二・三丁目自治会には地域公民館が無く、当該施設が地域公民館と同様の利用がされている。

2.利用状況の妥当性

①稼働率

施設名称	稼働率
荒川沖東部地区学習等供用施設	5.8%
荒川沖西部地区学習等供用施設	14.1%

②過去10年間における利用者数の推移



●現状と課題

令和4年度の検討において、学習等供用施設は、「当初、市が設置したものの、主に地元町内の団体が利用しており、実質的に地域の集会場と同じ用途であることから、実施時期や方法など地元の意向を確認の上、地元への譲渡(移管)が妥当と考えています。」としている。

3.コストの妥当性

施設名称	延床面積	純行政コスト	延床面積1㎡当たり
荒川沖東部地区学習等供用施設	362㎡	452千円	1.2千円
荒川沖西部地区学習等供用施設	334㎡	1,828千円	5.5千円

4.機能や運営の代替性

民間等で類似施設なし

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
荒川沖東部地区学習等供用施設	362㎡	47年	100.0%	無	未
荒川沖西部地区学習等供用施設	334㎡	32年	72.6%	—	—

◎想定される方向性(案)

利用状況や地元の意向等を踏まえ、譲渡(移管)の時期や方法等について検討する。

No.10 観光・交流施設

1.施設概要

- ・観光案内所…土浦駅構内に設置された施設。
- ・レストハウス水郷…霞ヶ浦総合公園内にある施設。レストランフロア、バーベキュー場があるほか、併設された和室では、食事会や会議ができる。
- ・国民宿舎水郷「霞浦の湯」…霞ヶ浦総合公園内にある温浴施設
- ・まちかど蔵(大徳、野村)…国登録有形文化財。大徳は、観光案内や観光土産品を販売。野村は、袖蔵はそば打ち体験などができる多目的工房、レンガ蔵は喫茶店として活用。
- ・小町の館…そば打ち体験や観光情報を提供。展示コーナーや小町ギャラリーでは小町伝説について知ることができる。
- ・ネイチャーセンター…水生植物園、水辺施設の活動拠点として設置された霞ヶ浦総合公園の中にある施設。
- ・りんりんポート土浦…サイクリストの憩いの場所、回遊の拠点。休憩スペース、サイクリスト向けのメンテナンススペースやシャワー室、駐車場を整備。

2.利用状況の妥当性

延床面積1㎡当たりの利用者数

施設名称	延床面積	年間利用者数(人)	延床面積1㎡当たり
観光案内所	8㎡	8,354	1,113.9
レストハウス水郷	588㎡	11,893	20.2
国民宿舎水郷「霞浦の湯」	1,149㎡	14,346	12.5
まちかど蔵「大徳」	585㎡	23,687	40.5
まちかど蔵「野村」	435㎡	7,726	17.7
小町の館	1,107㎡	30,357	27.4
ネイチャーセンター	305㎡	38,538	126.3
りんりんポート土浦	265㎡	27,426	103.7

●現状と課題

- ・全体的な利用者数は、コロナ前まではやや増加傾向で推移していた。
- ・施設の老朽化が進んでいる施設、コストが高い施設、受益者負担割合が低い施設など、施設毎に課題が生じている。

3.コストの妥当性

施設名称	純行政コスト(千円)	利用者1人当たり	延床面積1㎡当たり	受益者負担割合
観光案内所	4,536	0.5	604.8	0.0%
レストハウス水郷	2,790	0.2	4.7	99.9%
国民宿舎水郷「霞浦の湯」	36,873	2.6	32.1	28.2%
まちかど蔵「大徳」	9,023	0.4	15.4	0.3%
まちかど蔵「野村」	12,547	1.6	28.8	0.4%
小町の館	39,048	1.3	35.3	20.0%
ネイチャーセンター	—	—	—	—
りんりんポート土浦	25,487	0.9	96.4	0.0%

4.機能や運営の代替性

- ・観光案内所: 関鉄バス案内、JR土浦駅の案内
- ・「霞浦の湯」: 民間の温浴施設
- ・まちかど蔵: 「大徳」の物販…各スーパーやコンビニ、「野村」の展示…博物館、喫茶「蔵」…ファミレス
- ・小町の館: 物販…各スーパーやコンビニ、蕎麦屋(小町庵)…そば処

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
観光案内所	8㎡	40年	78.0%	—	—
レストハウス水郷	588㎡	42年	100.0%	無	未
国民宿舎水郷「霞浦の湯」	1,149㎡	19年	73.5%	—	—
まちかど蔵「大徳」	585㎡	26年	100.0%	—	—
まちかど蔵「野村」	435㎡	21年	74.5%	—	—
小町の館	1,107㎡	26年	67.3%	—	—
ネイチャーセンター	305㎡	33年	78.3%	—	—
りんりんポート土浦	265㎡	4年	14.4%	—	—

◎想定される方向性(案)

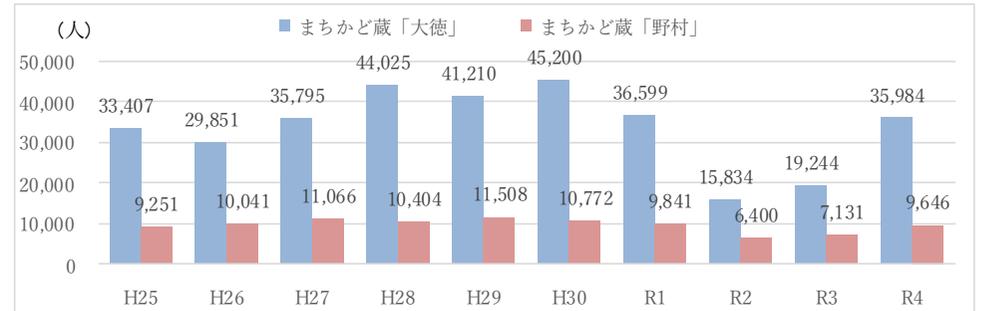
建物総量の増加を抑制しつつ、コスト削減や魅力向上を図る運営手法について検討する。

過去10年間における利用者数の推移

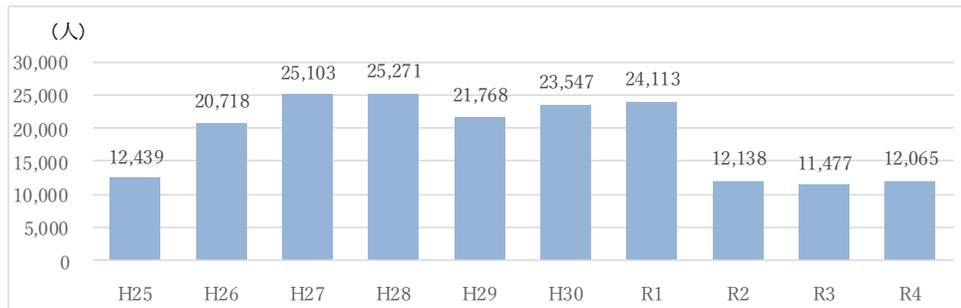
観光案内所



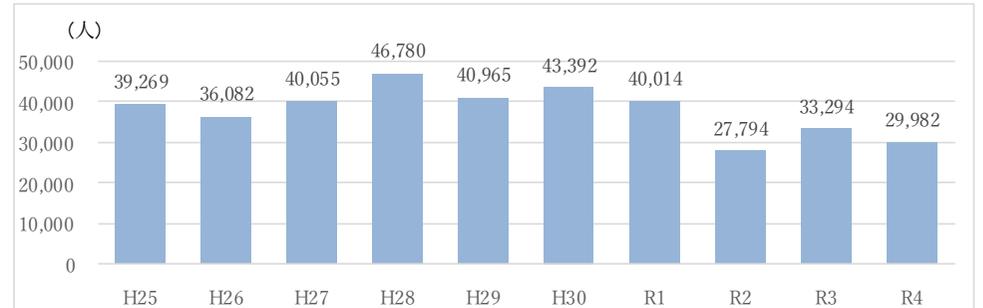
まちかど蔵



レストハウス水郷



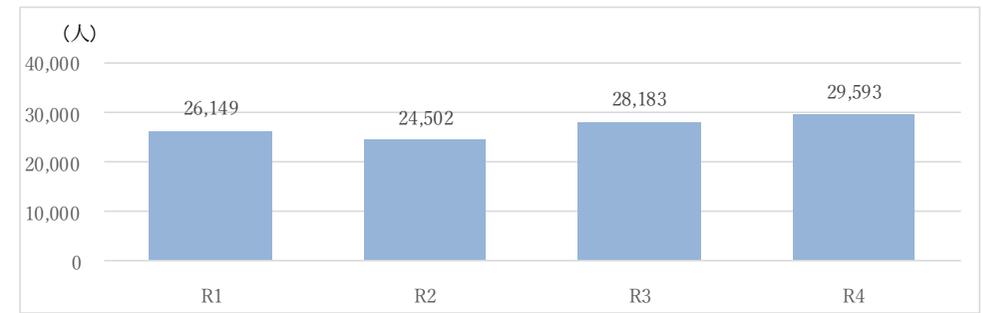
小町の館



国民宿舎水郷及びネイチャーセンター



りんりんポート土浦



No.11 農業センター

1.施設概要

農産物の有効利用、農業者の農業経営及び生活改善の合理化並びに地域連帯感を醸成することを目的として設置された施設。農村環境改善センターと農産物加工処理センターがある。

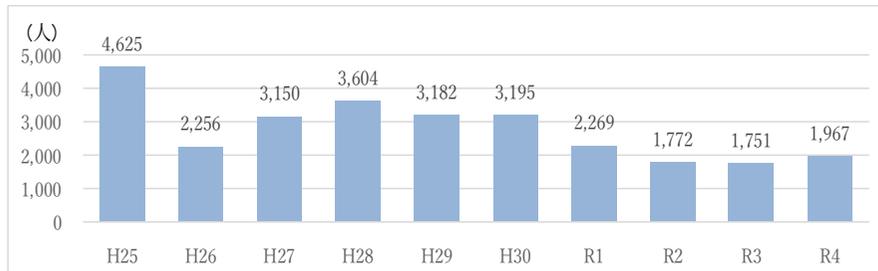
1階には、大会議室、地域営農指導室、健康相談室、農業公社事務所、2階には、研修室、新治土地改良事務所、天の川土地改良事務所がある。
。農産物加工処理センターには調理室があり、小町の館で販売している「小町みそ」を作っている。

2.利用状況の妥当性

①延床面積1㎡当たりの利用者数

施設名称	延床面積	年間利用者数	
		(人)	延床面積1㎡当たり
農業センター	1,352㎡	1,830	1.4

②過去10年間における利用者数の推移



③稼働率

施設名称	大会議室	研修室	農産物加工処理センター
農業センター	3.5%	3.7%	39.5%

●現状と課題

・農産物加工処理センターは稼働率が高く、一定のニーズがある。一方、会議室や研修室の稼働率は低い。
・築40年を経過したが、大規模改修は未実施である。



◎想定される方向性(案)

複合化・施設共有により建物総量の圧縮を図りつつ、市民サービスの維持を図るために必要な施設のあり方について検討する。

3.コストの妥当性

施設名称	純行政コスト(千円)	利用者1人当たり		受益者負担割合
		延床面積1㎡当たり		
農業センター	10,218	5.6	7.6	7.6%

4.機能や運営の代替性

民間等で類似施設なし

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
農業センター	1,352㎡	40年	76.1%	—	未

No.12 保健施設

1.施設概要

・保健センターは、市民の疾病の予防並びに健康の保持及び増進に資することを目的として設置された施設である。建物3階には、幼児ことばの教室と早期療育相談がある。
 ・新治分室内には新治支所があり、また、一部を土浦地域産業保健センターに貸出している。
 ・休日救急診療所は、日曜日等における市民の応急医療を行うことを目的として設置された施設で、平日・休日の夜間、休日の昼など、急な病気やけがでかかりつけ医等にかかれないときに利用することができる。

2.利用状況の妥当性

過去10年間における利用者数の推移(休日救急診療所)



●現状と課題

・新治分室は、地域保健に基づく事業の役割を終了し、地域保健法の規定にある機能は既に保健センターに集約されている。
 ・保健センター内にある幼児ことばの教室、早期療育相談は、昨年度の配置方針の中で、療育支援センターとの集約化の方向を示している。

◎想定される方向性(案)

集約・複合化により建物総量の圧縮を図りつつ、施設の効果的な活用による利便性向上について検討する。

3.コストの妥当性

施設名称	年間利用者数(人)	延床面積	純行政コスト(千円)	利用者1人	延床面積
				当たり	1㎡当たり
保健センター	—	2,533㎡	824,836	—	325.6
保健センター新治分室	—	391㎡	2,905	—	7.4
休日救急診療所	844	155㎡	45,178	53.5	291.4

4.機能や運営の代替性

民間等で類似施設なし

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
保健センター	2,533㎡	32年	59.1%	—	—
保健センター新治分室	391㎡	36年	68.1%	—	—
休日救急診療所	155㎡	32年	59.1%	—	—

No.13 障害者等施設

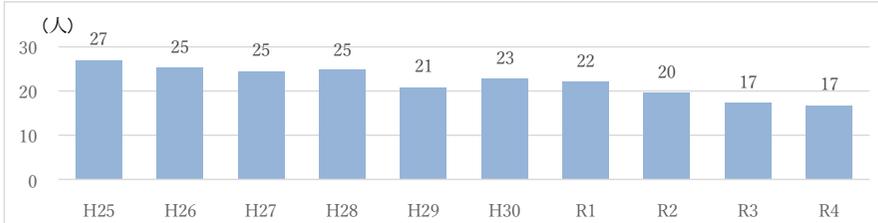
1.施設概要

- ・障害者自立支援センター…障害者の自立及び社会参加を促進し、障害者の福祉の増進を図ることを目的として設置された施設。対象は18歳以上の身体障害者。
- ・つくしの家、つくし作業所…18歳以上の知的障害者に対し、基本的な生活習慣の確立や職場実習の実施などを指導目標として各種作業を実施。つくし作業所は療育支援センター内にある。
- ・療育支援センター…0歳から就学前までの幼児とその保護者に支援を行う「つくし療育ホーム」と、3歳以上から就学前までの幼児が通園する「つくし学園」がある。
- ・幼児ことばの教室…就学前の幼児を対象に言語・コミュニケーション・認知・運動等の発達を促すため、個別指導を中心とした療育を行う。
- ・早期療育相談…子どもの発達にかかわる相談に、心理職員や早期療育相談員が個別に受ける事業。

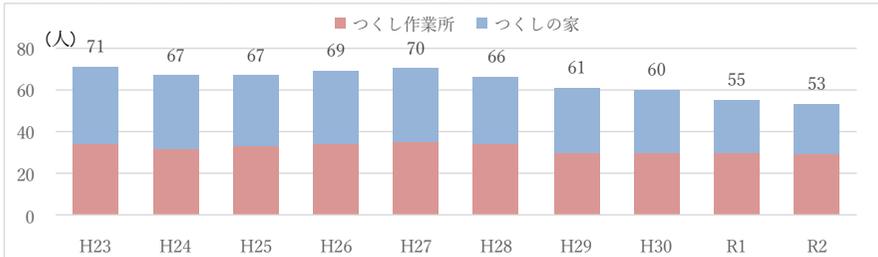
2.利用状況の妥当性

過去10年間における利用者数の推移

①障害者自立支援センター(実利用者数)



②つくし作業所及びつくしの家(登録者数)



●現状と課題

障害者自立支援センターは利用者数が減少傾向だが、市内に同種施設は他に1施設しかなく、一定のニーズがある。それ以外の施設については、昨年度の先行検討の中で集約・複合化の方針を示しており、方針に基づく実施時期や場所の検討が必要である。

3.コストの妥当性

施設名称	純行政コスト(千円)	利用者1人当たり	延床面積1㎡当たり	受益者負担割合
障害者自立支援センター	21,973	12.9	48.1	47.9%
つくしの家	32,774	7.8	43.7	47.6%
つくし作業所	3,182	0.6	7.6	93.0%
療育支援センター	46,911	12.5	84.2	52.9%
幼児ことばの教室	13,048	5.5	114.2	59.6%
早期療育相談	22,931	219.1	401.5	32.6%

4.機能や運営の代替性

障害者自立支援センターの類似機能…障害者支援施設さくら苑

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
障害者自立支援センター	457㎡	26年	32.5%	—	—
つくしの家	750㎡	34年	67.2%	—	—
つくし作業所	421㎡	44年	84.0%	有	未
療育支援センター	557㎡	44年	84.0%	有	未
幼児ことばの教室	114㎡	32年	59.1%	—	—
早期療育相談	57㎡	32年	59.1%	—	—

◎想定される方向性(案)

集約・複合化により建物総量の圧縮を図りつつ、利用者のサービス向上や業務の効率化を図る手法について検討する。

No.14 児童クラブ

1.施設概要

労働等により、放課後に家に帰っても保護者のいない小学校の児童を対象に、学校の余裕教室や児童クラブ室により、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図ることを目的に各小学校及び義務教育学校に配置。

2.利用状況の妥当性

施設名称	定員	登録者数 (R2~R4 平均)	定員に対する 登録者数の 割合
土浦小学校児童クラブ	130	156	120.0%
下高津小学校児童クラブ	140	166	118.8%
東小学校児童クラブ	99	124	124.9%
大岩田小学校児童クラブ	118	138	116.9%
真鍋小学校児童クラブ	190	207	109.1%
都和小学校児童クラブ	117	145	124.2%
荒川沖小学校児童クラブ	88	115	130.3%
中村小学校児童クラブ	114	133	116.4%
土浦第二小学校児童クラブ	116	124	106.6%
上大津東小学校児童クラブ	80	114	142.5%
神立小学校児童クラブ	118	151	127.7%
右廻小学校児童クラブ	76	97	127.2%
都和南小学校児童クラブ	75	82	109.3%
乙戸小学校児童クラブ	77	100	130.3%
菅谷小学校児童クラブ	38	43	113.2%
新治学園義務教育学校児童クラブ	128	142	110.7%
全体	1,704	2,036	120.5%

3.コストの妥当性

純行政 コスト (千円)	利用者 1人当たり	延床面積 1㎡当たり	受益者 負担割合
6,763	43.4	22.6	28.4%
3,950	23.7	33.1	32.4%
6,634	53.6	28.7	29.2%
4,585	33.2	—	23.6%
-1,201	-5.8	—	43.2%
1,952	13.4	—	25.4%
6,482	56.5	35.5	23.4%
5,824	43.9	61.1	20.3%
6,670	53.9	68.3	20.6%
3,426	30.0	—	29.0%
5,689	37.8	22.2	23.3%
3,807	39.4	—	19.1%
5,785	70.5	37.5	21.0%
8,224	82.0	116.1	18.8%
2,058	47.9	—	20.4%
5,801	41.0	17.3	28.9%

5.建物の機能の妥当性

延床面積	築年数	減価 償却率	耐震性	大規模改 修の有無
300㎡	10年	34.3%	—	—
119㎡	18年	44.0%	—	—
231㎡	17年	48.2%	—	—
—	50年	66.7%	有	未
—	40年	64.0%	—	未
—	49年	28.3%	有	未
183㎡	11年	39.5%	—	—
95㎡	44年	31.2%	有	—
98㎡	44年	64.5%	有	—
—	40年	67.8%	—	未
257㎡	21年	38.0%	—	—
—	44年	69.9%	有	未
154㎡	19年	27.6%	—	—
71㎡	13年	41.8%	—	—
—	37年	79.2%	—	—
335㎡	5年	17.6%	—	—

4.機能や運営の代替性

民間等で類似施設なし

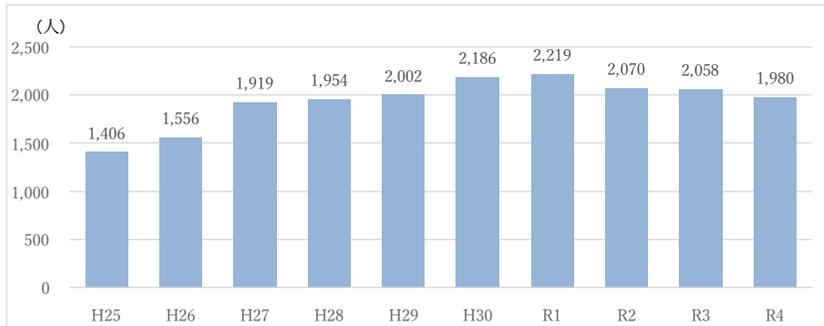
●現状と課題

・各施設の定員に対する登録者数は100%を超えているが、これは登録者が必ずしも毎日利用していないため、各日の利用者数は、概ね定員数の100%以下となっている。
 ・施設の形態は、校舎を利用している場合と敷地内に別棟を建設する場合の2通りある。

◎想定される方向性(案)

複合化や他類型の施設共有により、建物総量の増加を抑制する手法について検討する。

過去10年間における登録者数の推移



No.15 その他の教育施設

1.施設概要

・教育相談室…不登校児童・生徒に対し再登校への手助けをすることを目的として設置された施設で、土浦市内の小中学校の児童生徒及びその保護者、小・中学校の教員を対象に、通室、電話、面談で不登校児童生徒の学校及び社会への適応指導、不登校に関する相談を受けている。

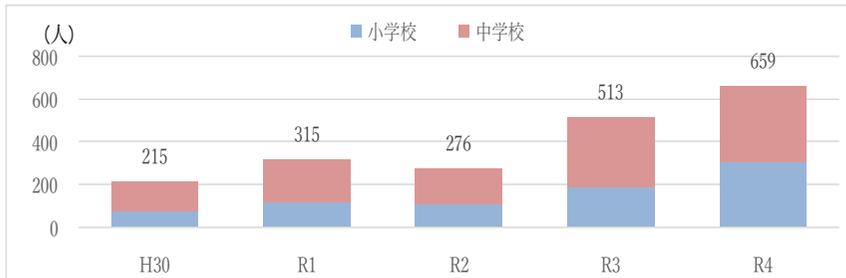
・学校給食センター…土浦市立小学校、中学校及び義務教育学校の学校給食を適正かつ円滑に実施するため、調理等の業務を一括処理する施設として設置された施設で、15校の小学校、8校の中学校(茨城県立土浦第一高等学校附属中学校を含む)、1校の義務教育学校に給食を提供している。

2.利用状況の妥当性

①教育相談室「ポプラひろば」の過去3年間における利用人数・件数

	年度	R2	R3	R4
	開室日数	236	187	239
ポプラひろば通室	延人数	1,232	922	1,241
電話・来室相談	件数	60	111	98

②過去5年間における長期欠席者数



※解消(学校復帰者)を除く、また、令和元年度及び令和2年度は感染症による休校有り

●現状と課題

・小中学校の長期欠席者数は増加傾向
 ・教育相談室は市内に1か所で、市内全域からの通学は困難。各中学校に校内フリースクールの設置を進めている。

3.コストの妥当性

施設名称	純行政コスト (千円)	利用者1人	延床面積	利用者数 (人)
		当たり	1㎡当たり	
教育相談室「ポプラひろば」	20,782	18.4	7.8	1,132
学校給食センター	264,485	24.9	54.0	10,621

4.機能や運営の代替性

民間フリースクールによる不登校児童生徒支援

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
教育相談室「ポプラひろば」	2,663㎡	47年	87.6%	有	R5予定
学校給食センター	4,901㎡	3年	5.1%	—	—

◎想定される方向性(案)

増加するニーズへの対応に留意しつつ、施設総量の維持に努める。



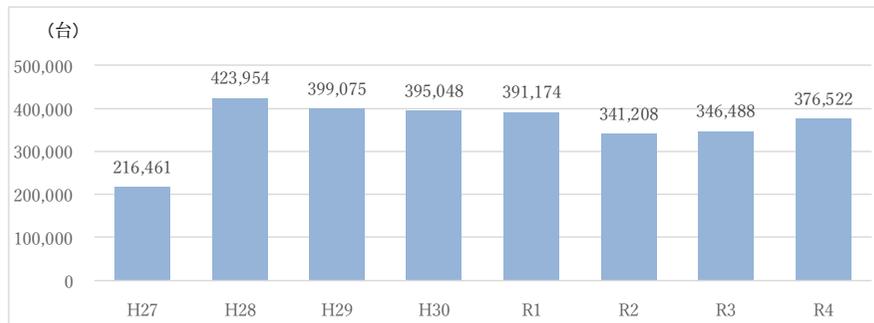
No.16 庁舎等

1.施設概要

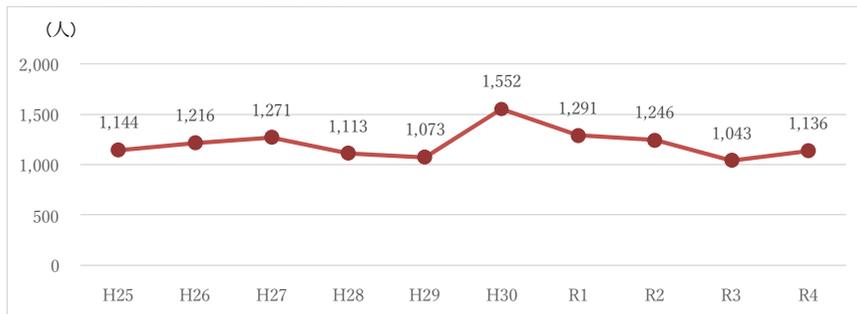
- ・庁舎…行政事務を円滑に進めることを目的として設置された施設。市役所本庁舎と教育委員会はウララⅠ、Ⅱビル内にあり、大町庁舎には水道課が入っている。また、真鍋事務庁舎はシルバー人材センターに貸し出している。
- ・社会福祉センター…ウララ2の4～6階にあり、社会福祉協議会の事務室や電話相談室、ボランティアセンター、点字ライブラリーなどがある。
- ・道路補修事務所…道路機能の維持・補修作業のための拠点として設置された施設。
- ・消費生活センター…土浦市民を対象に消費生活に関する相談を受け、その解決に向けた助言や斡旋、情報提供を行う。

2.利用状況の妥当性

①市役所本庁舎の駐車場利用台数



②消費生活センター相談件数



3.コストの妥当性

施設名称	延床面積	純行政コスト (千円)	延床面積 1㎡当たり
市役所本庁舎	34,993㎡	553,045	15.8
教育委員会庁舎	1,117㎡	21,108	18.9
大町庁舎	686㎡	18,353	26.8
真鍋事務庁舎	579㎡	—	—
社会福祉センター	2,478㎡	58,060	23.4
道路補修事務所	457㎡	33,130	72.5
消費生活センター	283㎡	36,746	130.0

4.機能や運営の代替性

民間等で類似施設なし

5.建物の機能の妥当性

施設名称	延床面積	築年数	減価償却率	耐震性	大規模改修の有無
市役所本庁舎	34,993㎡	26年	32.5%	—	—
教育委員会庁舎	1,117㎡	26年	32.5%	—	—
大町庁舎	686㎡	34年	88.0%	—	—
真鍋事務庁舎	579㎡	39年	87.6%	—	—
社会福祉センター	2,478㎡	26年	32.5%	—	—
道路補修事務所	457㎡	41年	100.0%	—	未
消費生活センター	283㎡	40年	74.8%	—	未

●現状と課題

- ・市役所本庁舎は移転から8年経過し、機構改革により狭隘な箇所が見られる。
- ・大町庁舎の2階には空き室が見られる。また、道路補修事務所内には、以前、清掃事務所があったが、清掃センターに移転したことから、スペースに余剰が生じている。
- ・真鍋事務庁舎、道路補修事務所、消費生活センターは築40年程度経過し、大規模改修が必要な時期となっている。

◎想定される方向性(案)

建物総量を圧縮しつつ、業務効率化を図るため、部署の適正配置や市有財産の利活用方法について検討する。

類型別方向性の検討(まとめ)

No.	名称	対象施設	現状と課題
1	ホール、ギャラリー	市民会館、市民ギャラリー、亀城プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールの稼働率が低く、特に亀城プラザの稼働率が低い ・全体的に純行政コストは高く、受益者負担割合は低い ・亀城プラザは築40年を経過したが、大規模改修は未実施
2	図書館	図書館、地区分館(三中、都和、新治、神立)	<ul style="list-style-type: none"> ・都和分館の来館者数が、他の分館と比べて著しく少ない ・来館者1人当たりの純行政コストは、本館及び新治分館が高い ・将来世代からは、自習スペースの確保に係る要望が多い
3	集会施設、生涯学習施設	地区公民館(8館)、生涯学習館、青少年センター、神立地区コミュニティセンター、男女共同参画センター、亀城プラザ、勤労青少年ホーム、勤労者総合福祉センター、社会福祉センター、市民会館、ふれあいセンター「ながみね」	<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋に余剰がある。特に、和室や調理室の稼働率が低い ・全体では、男女共同参画センターや社会福祉センターの稼働率が低く、地区公民館の中では、二中地区公民館、上大津公民館の稼働率が比較的低い。 ・地区公民館は、3館が築40年経過するなど老朽化が著しい
4	屋内運動施設	新治トレーニングセンター、武道館、亀城プラザ、勤労青少年ホーム、勤労者総合福祉センター、ふれあいセンター「ながみね」、小中学校体育館(旧小学校含む27施設)、霞ヶ浦文化体育会館(県施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に稼働率が高く、また、将来世代からの利用要望が多く挙がっているなど、市民ニーズが高い ・受益者負担割合は施設によってばらつきがあり、純行政コストは各施設とも高くなっている
5	高齢者福祉施設	老人福祉センター(湖畔荘、つわぶき、うらら)、新治総合福祉センター、ふれあいセンター「ながみね」	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から、「週に複数回」「入浴を目的」「自家用車」で利用している人が最も多い ・ながみね以外は、受益者負担割合が1%を下回っている ・温浴設備は、ボイラーなどの設備や配管等の故障が度々発生するなど、維持管理費が高額になっている
6	児童館等	児童館(都和、ポプラ、新治)、子育て交流サロン(わらべ、のぞみ)、こどもランド	<ul style="list-style-type: none"> ・純行政コストは、利用者1人当たり、延床面積当たりのいずれも、新治児童館が他施設と比較して高い ・都和・新治児童館は築40年以上経過し、老朽化が著しい
7	支所・出張所	上大津支所、南支所、都和支所、新治支所、神立出張所	<ul style="list-style-type: none"> ・支所・出張所の取り扱い件数は減少傾向 ・昨年度の検討で「他施設への複合化や機能移転」「利用状況やデジタル化等を踏まえたサービスのあり方を検討」としている
8	歴史館	博物館、上高津貝塚ふるさと歴史の広場	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前までの利用者数は緩やかな増加傾向 ・他の類型と比べて純行政コストは高い ・収蔵品が年々増加しており、収蔵庫の容積が不足している
9	学習等供用施設	東部地区学習等供用施設、西部地区学習等供用施設	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の検討において、「実質的に地域の集会場と同じ用途であり、地元への譲渡(移管)が妥当」としている
10	観光・交流施設	観光案内所、レストハウス水郷、国民宿舎水郷「霞浦の湯」、ネイチャーセンター、まちかど蔵「大徳」「野村」、小町の館、りんりんポート土浦	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な利用者数は、コロナ前まではやや増加傾向である。 ・施設の老朽化が進んでいる施設、コストが高い施設、受益者負担割合が低い施設など、施設毎に課題が生じている。
11	農業センター	農業センター	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物加工処理センターは一定のニーズがある ・築40年を経過したが、大規模改修は未実施
12	保健施設	保健センター、保健センター新治分室、休日救急診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・新治分室は、地域保健に基づく事業の役割を終了している ・保健センター内の2施設は、移転・集約の方針を示している
13	障害者等施設	障害者自立支援センター、つくしの家、つくし作業所、療育支援センター、ことばの教室、早期療育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援センターは利用者数が減少傾向だが一定のニーズがあり、それ以外の施設は昨年度集約・複合化の方針を示している
14	児童クラブ	各小学校児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の定員に対する登録者数は100%を超えている ・施設の形態は、校舎利用と別棟建設の2通りある
15	その他の教育施設	教育相談室「ポプラひろば」、学校給食センター	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の長期欠席者数は増加傾向 ・教育相談室は市内に1か所で、市内全域からの通学は困難。各中学校に校内フリースクールの設置を進めている。
16	庁舎等	市役所本庁舎(ウララ1・2)、大町庁舎、真鍋事務庁舎、社会福祉センター、道路補修事務所、消費生活センター	<ul style="list-style-type: none"> ・機構改革等による部署の移転などにより、施設によって、スペースの過不足が発生している
17	市営住宅	市営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅分野の施策を総合的、計画的に推進するため「住生活基本計画」の策定、「公営住宅等長寿命化計画」を改訂する予定
18	保育所等	保育所(荒川沖、東崎、東崎分園、霞ヶ岡、天川、神立)、土浦幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の適正配置、保育所の民間活力導入を推進し、施設数を半分以下に削減した
19	学校施設	小学校、中学校、義務教育学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「土浦市立小学校及び中学校適正配置等基本方針」による、小学校の統廃合を実施
20	消防署	消防本部庁舎、荒川沖署、神立署、新治署、南分署	<ul style="list-style-type: none"> ・消防本部庁舎の建替えや、並木出張所を土浦消防署に統合するなど、消防力の適正配置を進めている
21	分団車庫	分団車庫	<ul style="list-style-type: none"> ・全38施設のうち14施設が築40年以上を経過するなど、老朽化が進んでいる
22	その他行政施設	まちばん(荒川沖、神立)、斎場、藤沢集会所	<ul style="list-style-type: none"> ・民間による類似サービスの提供は無く、今後も設置が必要
23	旧施設	旧本庁舎、旧高津庁舎、旧上大津西小、旧藤沢小、旧斗利出小、旧山ノ荘小、旧第1・2給食センター、旧新治幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・「土浦市公共施設跡地活用方針」に基づき、「転用」、「貸付」、「売却」を進めている